

平成30年度 釧路支部 活動報告

平成30年4月21日 (土)

1. 研究内容について

○釧路支部 研究主題

『自ら運動と向き合い、夢中になれる子供の育成』
～つながる体育学習～

○研究仮説

9年間の技能のつながりを明確にしたカリキュラムや子供の実態に応じた単元計画の中で、必要感の伴った課題を解決する場面を設定し、交流場面に工夫を取り入れることで、子供たちの運動への志向性が高まり、自信を持って意欲的に学習に取り組むだろう。

○研究の視点

視点1 知識・技能のつながり～9年間のつながりに基づいた指導と評価

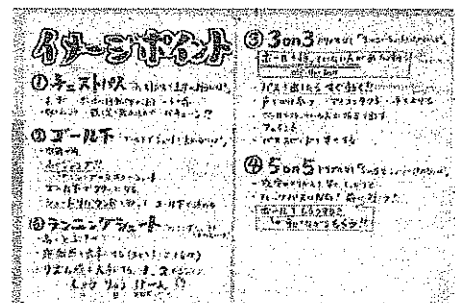
- (1) 子供の実態に応じた単元計画の立案
 - ・9年間のカリキュラムの活用
 - ・子供から見た特性を生かした単元計画
 - ・技能向上、体力向上につながる準備運動
- (2) 目指す子供の姿の明確化
 - ・どのような子供たちの姿で単元を終えたいかを明確にする
 - ・個人の目指す姿、集団（学級・学年）としての目指す姿
- (3) 評価内容の明確化
 - ・観察の視点・意識するポイントの明確化

視点2 思考・判断・表現/主体的な学びへのつながり～必要感の伴う問題場面の設定

- (1) 問題場面との出会い
 - ・問題を実感できる場面を作りだす教師の仕掛け～学び、思考のきっかけ作り
- (2) 課題の設定と解決方法の選択
 - ・問題場面から、自分たちの課題を設定する（選ぶ）
 - ・課題を解決するための練習方法や場を考える（選ぶ）

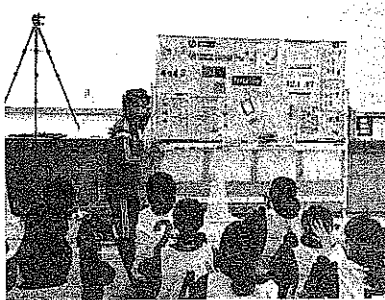
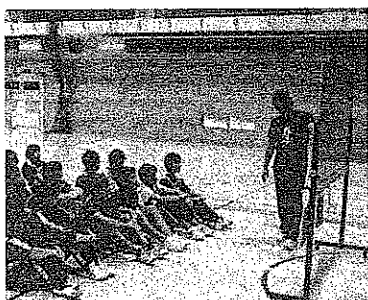
視点3 学びに向かう力、人間性の涵養/対話的な学びとのつながり～交流場面の工夫

- (1) 意図のあるグルーピングと役割分担
 - ・リーダー、技能差、コミュニケーション力等の配慮
 - ・役割分担とチームミーティング
- (2) 交流を活性化させるための工夫
 - ・統一した視点～見える化、キーワード化
 - ・バディシステム～アドバイスタイムの設定
- (3) チームワークの意識の徹底
 - ・肯定的な雰囲気、支持的風土を醸成する



2. 釧路支部の取り組み

日程	内容	会場	備考
5 2	研究部会①	美原中	9カリ検討・主題、副題の解説・手立て
	22 研究部会②	美原中	9カリ検討・指導案検討
6 3	釧路支部 定期総会	アケアホール	
	27 研究部会③	美原中	9カリ検討・指導案検討
8 4	研究部会④（夏期研修会）	美原中	研究の方向性・指導案検討・9カリ検討
9 5	実技研修会～バスケットボール/コーディネーションTR	美原中	講師：安宅寛法氏（レバンガ北海道）
	11 授業公開～釧路町学校教育研究大会（葛西広大教諭）	釧路町別保中	単元：バスケットボール（中3）
10 12	研究部会⑤	美原中	研究の方向性・指導案検討
	25 授業公開～釧路市学校教育研究大会（小林啓聡教諭）	桜が丘小	単元：ポートボール（小3）
	27 授業公開～附属釧路小学校研究大会（中村謙太教諭）	附属小	単元：器械・器具を使つての運動遊び（小1）
	27 授業公開～附属釧路中学校研究大会（村岡愛司教諭）	附属中	単元：器械運動～跳び箱（中2）
11 2	授業公開～白糠町公開研究会（築田竜弥教諭）	白糠町底路中	単元：器械運動～マット（中2）
	8 授業公開～釧路市学校教育研究大会（佐藤雄飛教諭）	鳥取西中	単元：バスケットボール（中3）
	15 授業公開～体力向上ボトムアップ事業（所桂太郎）	美原中	単元：バスケットボール（中2）
	22 研究部会⑥	美原中	公開授業まとめ・研究の方向性
12 27	研究部会⑦（冬期研修会）	美原中	次年度に向けて・釧路大会に向けて
3 1	研究部会⑧	美原中	今年度総括・次年度に向けて 釧路大会に向けて



3. 平成30年度の展望 ～第56回大会 北海道学校体育研究大会 釧路大会に向けて～

- 研究骨子
- 月2回以上の研究部会
 - 研究理論研修
 - 9年間のカリキュラムの整備
- 公開授業の計画
 - プレ大会の実施
- 実技研修会の実施

平成31年度



世界三大夕日～幣舞橋より